

生物科学専攻 博士前期課程一般選抜入試 外部英語検定試験の導入について

大阪大学大学院理学研究科博士前期課程生物科学専攻一般選抜では、2023年度に実施する入学試験から、外部の英語検定試験を導入します。詳細は以下のとおりです。

- ① 英語検定試験は、2023年度夏に実施予定の入学試験から導入します。従来の英語筆記試験は行いません。
- ② 出願書類として TOEFL または TOEIC の成績証が必要となります。2021年7月以降に受験した試験の成績を有効とします。
- ③ TOEFL または TOEIC を複数回受けている場合は、自分に最も有利と考える成績証の写しを出願時に提出してください。成績証の原本は筆記試験や面接などの折に確認しますので、保管しておいてください。
- ④ TOEFL の成績証を提出する場合
iBT(Internet-based Test、iBT® Home Edition を含む)及び PBT(Paper-based Test)の成績証を有効とし、その他の試験区分のものは受け付けません。また、iBT では Test Date スコアのみを出願スコアとして活用します。(My Best スコアは活用しません。)
- ⑤ TOEIC の成績証を提出する場合
Listening & Reading Test の成績証を有効とします。Speaking & Writing やその他の試験区分の成績証は受け付けません。また、TOEIC Bridge 及び団体特別受験制度 (IP Institutional Program) の成績証は受け付けません。

※2022年度に実施する生物科学専攻博士前期課程一般選抜では、英語検定試験を導入せず、従来どおり英語筆記試験を行います。

※新型コロナウイルスの感染拡大状況等により、導入時期及び有効な試験区分・受験期間は変更となる場合があります。詳細は当該年度の学生募集要項を必ず確認してください。